

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：久保田 浩文 作成日：2026年1月28日

1. 教育の責任

財務、会計及びコンサルティングの実務経験を生かし、「会計学入門」「財務会計論」「管理会計論」「ファイナンス入門」「実践演習（会計Ⅱ）」「会計学応用演習」「税務会計論」「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」「働くことを考えるⅡ」を担当している。

2. 教育の理念

(1) 財務・会計

財務及び会計のスキルを身に付けければ、生活力がアップし幸せな人生を歩めるとの信念を持って教育している。

理念の実現のため、以下を実践する。

第1段階：誰でも入手できる公表情報をもとに講義テキストを作成し、それをベースに社会及び経済事象を解説し興味を持たせる。

第2段階：興味を持たせた後、財務・会計スキルの理論的な説明を実施し、理解をさせる。

第3段階：ある程度の理解を前提に、社会及び経済事業を財務及び会計の切り口で見える化するための課題を設定し、考えさせる。

第4段階：課題の内容を確認し、フィードバックを実施する。

(2) キャリア系の科目

自分にとって好きな仕事を見つけて、報酬が得られることが最も充実した人生が歩めるとの信念により、教育をしている。

第1段階：好きなこと、興味のあることを見つける。

第2段階：それに関連する仕事を探す

第3段階：その仕事をするために必要なスキルを特定する。

第4段階：資格を含め、スキルアップの指導を実施する。

3. 教育の方法

(1) 教育の目的と目標

(教員としての目標)

- ・知識や技術の伝達方法：リアルな事例を利用し、分かりやすく説明をする。
- ・学生の専門能力の向上：毎回の授業課題で考えることを実践する。
- ・学生との接し方：毎回、授業アンケートを実施する。
- ・自らの専門分野における教員としての成長や発展：実務家教員としての実務能力の維持、研究テーマの資料収集を実施する。
- ・効率：el-Campus を利用し、効率的な教育を実施している。

(学生に求めること、学生に対する期待)

- ・学生の専門能力の向上：社会及び経済事象に興味を持ち、理論を学習し、その見える化を実践する。
- ・学生の人間的成長：自ら考え、実践できる人間として成長して欲しい。

(2) 教育実践

(教育実践)

- ・シラバス：できるだけ授業内容がイメージできる内容とし、el-campus に掲載している。
- ・課題、試験：授業ごとの課題と最終課題により評価を実施する。
- ・教科書の選定、テキスト：教科書はなく、毎回、授業でオリジナルテキストを配布する。
- ・学習方法：動画でイメージを持ち、内容の説明、課題を実践する。
- ・双方向的な学習・Webの利用：毎回、授業アンケートを実施し、①理解できたこと、②理解できなかったこと、③教員に対する要

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：久保田 浩文 作成日：2026年1月28日

望、④感想等に回答してもらい、特に講義で理解できなかったことを次の講義で再度説明し、理解を深める。

・講義スタイル：対面による講義

4. 教育の成果

毎回の授業アンケートにより学生の満足度を検証し、一定の結果を出すことができた。

5. 改善への努力と今後の目標

4年目に入るので教育理念の実現のため、分かりやすい授業のレベルアップ、課題に対する丁寧なフィードバックにより、学生のレベルアップを図る。

【添付資料】

シラバス